

熊本県立美術館 EXHIBITION

スケジュール 〈第Ⅱ期～第Ⅲ期〉

	特別展	細川コレクション	美術館コレクション
7月	熊本⇄東京 画家たちの上京物語 7月19日～8月31日	細川コレクションⅡ ＜特集＞ 花鳥の美 —百花繚乱の東洋美術— 7月11日～9月28日	美術館コレクションⅡ ＜企画展示＞ 藤崎八幡宮の歴史と名宝 7月11日～9月28日
8月			
9月	平山郁夫展 9月18日～10月24日	細川コレクションⅢ ＜特集＞ 信長からの手紙 10月10日～12月14日 (常設展示は12月23日まで)	美術館コレクションⅢ ＜特集＞ 生誕300年 矢野雪叟 —雪舟への回帰— 10月10日～12月23日
10月	パスキン展 哀愁と悲劇の天才画家 —エコール・ド・パリの寵児— 10月30日～1月12日		
11月			
12月			

関連イベント

ミュージアムセミナー

展示会の内容や当館の活動に関するくわしい話、美術や歴史についての裏話などを楽しくご紹介するセミナーです。事前申込みは不要で、どなたでも無料で参加できます。

7月19日(土) 14:00～15:00

「藤崎八幡宮の美術」

講師：学芸課主幹 有木 芳隆

会場：本館講堂

8月9日(土) 14:00～15:00

「画家たちの上京」

講師：主任学芸員 林田 龍太

会場：本館講堂

8月23日(土) 14:00～15:00

「画家たちの東京」

講師：主任学芸員 林田 龍太

会場：本館講堂

8月30日(土) 14:00～15:00

「画家たちの戦中・戦後」

講師：主任学芸員 林田 龍太

会場：本館講堂

子ども美術館

展示会の内容にあわせ、美術や歴史の理解につながる、子ども向けのワークショップを開催いたします。事前申込みは不要で、どなたでも無料で参加できます。ただし、展示室に入場される場合には観覧料が必要となりますのでご注意ください。

7月27日(日) 10:30～12:00

「ちょうちんよで暑中見舞い」

8月10日(日) 10:30～12:00

「やってみよう、シュールレアリスム」

8月24日(日) 10:30～12:00

「これでもみんなもゼンゾウさん」

学芸員による ギャラリートーク

会期中の毎月第二・第四日曜日の14時から、当館学芸員が展示作品について30分程度解説いたします。開始時間前に二階会場入口までお越しください。なお、ギャラリートークのご参加には観覧料が必要となりますので、ご注意ください。

7月13日(日)、7月27日(日)

8月10日(日)、8月24日(日)

9月14日(日)、9月28日(日)

装飾古墳室 夏休み特別企画



- ①「古代のよろい・かぶとなど」を特別展示！
7月11日(金)～9月28日(日)*装飾古墳館特別協力
- ②子どもわーくしよっぷ「古代もようでパズル」
8月2日(土)午前10時30分～12時
対象：小中学生 事前申込み不要

交通案内

Transportation guide

- バス/交通センターから歩いて15分、または交通センターで熊本城周遊バス(通称:しろめぐりん)に乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分
- 市電/「熊本城・市役所前」または「花畑町」下車、歩いて15分
- JR/熊本駅から熊本城周遊バスで「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分 上熊本駅からタクシーで10分
- 阿蘇くまもと空港/空港バスで交通センターへ、センターから歩いて15分または熊本城周遊バスに乗り換え「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分
- 駐車場/二の丸駐車場(有料)三の丸駐車場(有料)



KUMAMOTO PREFECTURAL MUSEUM OF ART
熊本県立美術館 [本館]

本館 〒860-0008 熊本中央区二の丸2番 TEL.096-352-2111 FAX.096-326-1512
<http://www.museum.pref.kumamoto.jp>

花鳥の美

—百花繚乱の東洋美術—

細川コレクション

HOSOKAWA



会期 平成26年7月11日(金)～9月28日(日)

*作品保護のため、会期中に一部作品の展示替えを行います。

- ◆別棟展示室 花鳥の美
- 二階展示室第1室 常設展示

主催/熊本県立美術館・熊本日日新聞社・RKK熊本放送
協力/熊本ルネッサンス県民運動本部 肥後銀行
特別協力/公益財団法人 永青文庫

狩野栄信《百鳥図》 江戸時代後期(19世紀)
永青文庫所蔵 ※展示期間:7/11(金)～8/24(日)

企画展示

藤崎八幡宮の 歴史と名宝

MUSEUM



会期 平成26年7月11日(金)～9月28日(日)

*作品保護のため、会期中に一部作品の展示替えを行います。

- ◆二階展示室第2室 藤崎八幡宮の歴史と名宝
- 第3室 常設展示

主催/熊本県立美術館
特別協力/藤崎八幡宮

観覧料金

- 共通券/一般420円(300円) 大学生250円(190円)
- 別棟展示室のみ/一般210円(160円) 大学生130円(100円)
- 本館二階展示室のみ/一般270円(190円) 大学生160円(120円)

高校生以下無料・障がい者手帳をお持ちの方無料
※()内は20名以上の団体料金 ※前売券なし

開館時間/9時30分～17時15分(入館は16時45分まで) 休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休館)ただし、8月18日(月)は障がいのある方々の鑑賞デーとして開館



細川コレクション

[別棟展示室、本館二階第1室]

〈特集〉花鳥の美 —百花繚乱の東洋美術—

東洋では、花や鳥が絵画やさまざまな工芸品に描かれました。それらには、花や鳥自体の美しさを表現するとともに、たとえば牡丹や孔雀は富貴、芙蓉は栄華、雁は絆の強さを象徴するなど、それぞれに吉祥的な意味も込められていました。細川家には、8代藩主齊菴が蒐集した明～清時代の中国絵画や、それらを学んだ御用絵師の花鳥画、花鳥をデザインした豪華な工芸品が数多く伝わります。この展示では、百花繚乱の華やかな東洋美術の作品を飾るとともに、当時の人々が、花や鳥にどのような吉祥的な意味を見出し、接していたかを探りたいと思います。



呂紀《花鳥図》
中国・明時代(15世紀) 永青文庫所蔵
※展示期間:7/11(金)～8/24(日)



福田太華《十二月花鳥図屏風》
江戸時代後期(19世紀)
永青文庫所蔵 熊本県立美術館寄託
※前期右隻・後期左隻



重要文化財 宮本武蔵《鶴図》
江戸時代前期(17世紀)
永青文庫所蔵 熊本県立美術館寄託
※展示期間:8/26(火)～9/28(日)

細川コレクション常設

細川コレクションでは、公益財団法人永青文庫の所蔵品を中心に、熊本の歴史・美術や細川家の大名文化を総合的に紹介する展示を行っています。第II期の常設展示では、細川護立の近代絵画のコレクションから、小林古径《髪》(重要文化財)と松岡映丘《室君》を展示します。また、大名細川家に伝わった武器・武具、大名調度、領内名勝図巻などを紹介します。



重要文化財 小林古径《髪》
昭和6年(1931)
永青文庫所蔵 熊本県立美術館寄託
※展示期間:8/26(火)～9/28(日)



松岡映丘《室君》(右隻)
大正5年(1916)
永青文庫所蔵 熊本県立美術館寄託
※展示期間:7/11(金)～8/24(日)

「永青文庫」 とは?

永青文庫は、江戸時代に肥後熊本の地を治めていた細川家に伝わる美術工芸品や歴史資料等を保存・研究するために設立された公益財団法人です。細川家の「始祖」とされる細川頼有が眠る京都建仁寺の「永源庵」の「永」と、近世細川家の「初代」とされる細川藤孝(幽齋)の旧領・京都西岡の「青龍寺城(勝龍寺城)」から「青」の一字をとり、第16代細川護立氏によって命名・設立されました。当館では、東京の公益財団法人永青文庫が所蔵する様々な美術工芸品や近世屏風、そして近代日本画などを展示できるよう「細川コレクション常設展示室」を設立し、およそ3ヶ月ごとに展示替えを行いながら、永青文庫の名品を常時展示しております。



浜田知明版画室

浜田知明版画室では、熊本市在住の版画家・彫刻家である浜田知明の作品を常設展示しています。今期は、《ある日・・・》など1981年から1985年制作の10点の銅版画を展示します。この頃、作者は60代半ば。静かな日常生活の中でも《行き止まり》や《見られている・・・》、《怯える人々》など、現代生活のそこはかとない不安感が描写されています。また、夫婦でヨーロッパ観光旅行に行っても、《カタコンベ》ができるなど、やはり浜田知明らしさが健在です。彫刻は、浜田彫刻としては大作になる1997年の《風景》です。



浜田知明《ある日・・・》
昭和57(1982)年 熊本県立美術館蔵

美術館コレクション

[本館二階第2室、第3室]

〈企画展示〉藤崎八幡宮の歴史と名宝

熊本市・藤崎八幡宮は「平将門の乱」平定の勅願により、平安時代の承平5年(935)、石清水八幡宮(京都府)を勧請して創建されました。以来、国家鎮護の霊社として広く尊崇をうけ、また軍神としても菊池一族や加藤家、細川家など武家の厚い信仰を集めました。天文11年(1542)には、後奈良天皇から「八幡藤崎宮」の勅額を賜り、以後、「八幡」ではなく特別に「八幡」の文字をあてるようになりました。もとは藤崎台野球場(熊本城三の丸)付近に鎮座していましたが、明治10年(1877)の西南戦争後、現在地に移転。千年以上の歴史に彩られた藤崎宮には、縁起絵などの絵画や彫刻、甲冑や刀剣などの工芸品、貴重な古文書など多数の文化財が伝えられています。本展では、国指定重要文化財や熊本県指定文化財を含むこれらの優れた美術工芸品や古文書を一堂に展覧いたします。「随兵」「飾り馬」の奉納行列、「藤崎八幡宮例大祭」で知られる藤崎八幡宮の名宝を鑑賞できる絶好の機会です。



《八幡宮勅額》後奈良天皇御筆
天文11年(1542) 藤崎宮所蔵



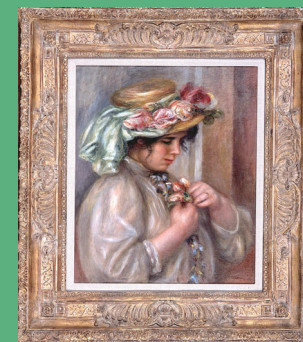
重要文化財
《木造僧形八幡神坐像》
鎌倉時代後期(14世紀)
藤崎宮所蔵

熊本県指定文化財
《腹巻・大袖袴》
室町時代 藤崎宮所蔵



美術館コレクション常設

第3室では、「版画家たちの系譜—ヨーロッパから日本へ—」として、デューラー、レンブラント、ゴッダなど西欧の古典版画や、ジョン・マーティンやメリヨンら19世紀のヨーロッパ版画、長谷川潔、駒井哲郎、浜田知明、池田満寿夫などが国の版画家たちなど、西洋から日本へと連なる銅版画の系譜を辿ります。フランスの近代絵画を紹介する常設コーナーでは、藤田嗣治(レオナルド・ツグハル・フジタ)やパスキンなどのエコール・ド・パリの画家たちの名作をはじめ、ルノワールやローランサンらの珠玉の名画で、画家たちの交流を紹介します。



ピエール＝オーギュスト・ルノワール
《胸に花を飾る少女》
1900年頃 油彩・カンヴァス



フランシスコ・デ・ゴッダ
銅版画集「ロス・カプリチオス」より
《理性の眼には妖怪を生む》
1797-98年 銅版画
(エッチング・アクワティント)



アルブレヒト・デューラー
《小さな馬》
1505年 銅版画(エンクレーヴィング)